

2022.12.3

第二回 GI HUNTERS CHAMPIONSHIP ログ Vol.01

チーム「かめもん ty」：せがもん、kamezou、kajuyuki

2021年12月、我々は遂に宝を発見した。しかしそれはすでに遅きに失っていた。初代王者を目指し参戦した第1回GI大会だが、多大な無念さと無力さとに苛まれながら瀬戸内海・片島、通称宝島を後にすることとなった。

あれから1年、雪辱を晴らすために各々が探索とトレーニングに励む日々。我々が過ごすこの期間は馴れ合う方向にはなく、互いがライバルであり、凌ぎを削る苛烈なものであった。事実、ハンターズヴィレッジ2022年上期ポイントランキングは総合、パラメーター、トレクエ共にkamezouとせがもんの激しい打ち合いとなっていた。そこにkajuyukiも後を追いついてくる。我々は互いに、初代王者を逃すことになった要因は自分にあり、自身を高みに引き上げない限りGI制覇は無いと考えていたのである。

これが、我々の絆である。

そしてこれが、かめもん ty の在り方である。

そして本日、2022年12月3日、第2回GI大会。再びこの日を迎えることとなった。最終調整を終え、鋭気に満ちた表情の3人は、互いに声をかけて探索へと向かった。

今回の作戦の肝は“機動力”を活かすことにある。直近でハーフマラソンを完走してきた「kajuyuki」が走破し探索エリアを広くカバーする。知力だけでなく体力においてもチーム内随一の持ち主である。カバーしきれない遠方を細やかに情報を拾う探索力に秀でた「kamezou」が押さえることでエリアカバレッジは完璧。そして「せがもん」が全体指揮と謎解明を優先して実践していくフォーメーションで臨む。互いの位置情報や映像、音声、テキスト情報については随時共有される仕組みとなっており、3人はバラバラに動くが実質完璧な1人が探索をしているのと変わらない。これは1年以上かけて築いてきた互いのリスペクト、信頼をベースとしたチームワークによって成し得るのであって、新造チームでは難しい。我々の大きなアドバンテージだと自負している。

本日の目標は、Day2に進出する10チームに残ること。これは必達である。

昨年宝島に置き忘れてきた大事なものは明日に残ってこそ手に入れられるのである。ここで敗退しては話にならない。

まず最初にせがもんと kajuyuki はシェアサイクルを取りに走る。まずはスムーズに自転車を GET できたのは機動力としてとても大きい！

一方、かめぞうは電車に乗り最果ての地、あらかわ遊園へ向かう。

せがもんの指示を元に 3 人が有機的に動き荒川区を三人で縦横無尽に駆け回る。

kajuyuki は取り逃した荒川自然公園、汐入公園へダッシュで向かう！

順調にキーワードを集めているが難関が立ちはだかった。

なかなか探せない焦りが募るが時間はたっぷりある。冷静にと声を掛け合って気持ちを落ち着かせる。

残すポイントはあと 3 つ。残り時間 35 分。たった 3 分の探索の為に最後の望みをかけて kajuyuki が自転車で疾走する。30 分の往復路を走る！そしてタイムアップ！！

最後 3 ポイント取れなかったが果たして、、

規定時間が終了し各々が集合場所に帰還する。やれることはやった。後は祈るばかりである。

みな表情は晴れやかであり、勝ちを確信したその表情を互いに見合わせ同様に安堵する。

言葉を交わさなくても分かっている。我々はそれぞれがベストを尽くしている。

そして黙って拳をぶつけ、その健闘を讃えあった。

これがチーム“かめもん ty“の流儀なのかもしれない。

終